

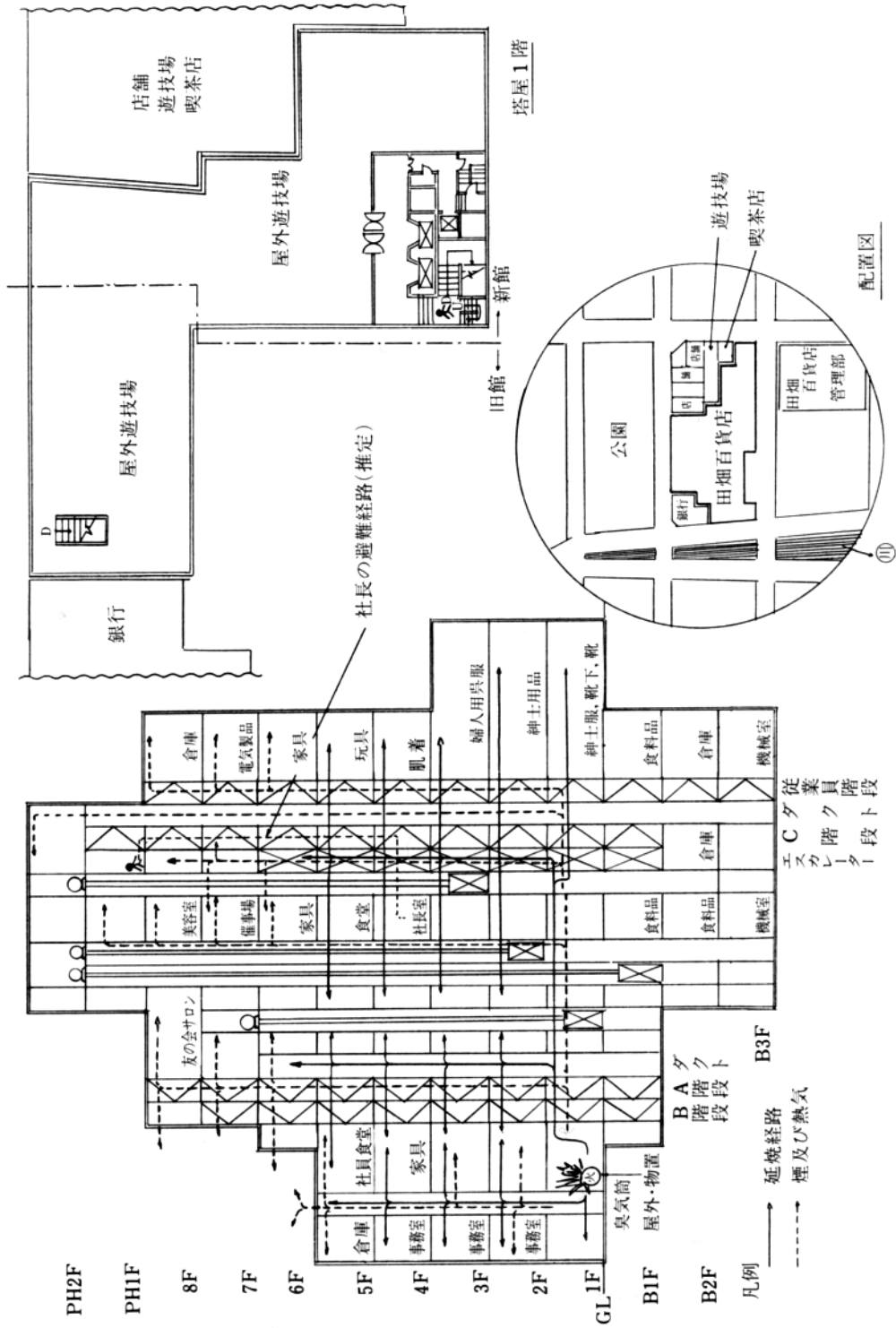
名称 所在	用途 (令別表)	発生日時等	構造・階層 面積	焼損程度 (焼損面積) 延面積	死傷者
株式会社 田畑百貨店	百貨店	昭和46年5月12日	耐火 Ⅲ	全・中・部・小	死者 1名
		出火1時22分ころ 覚知1時33分 覚知別 報知電話 鎮火17時35分	建 1,904 m ² 延 15,655 m ²	9,380 m ² (60%)	傷者 63名 (63)
千葉県千葉市 中央2-2-2	(4)				

I 火災概要									
① 概要	この火災は、百貨店の屋外にあった木製段飾り付近から出火したもので、密接していたシャッターを通じて建物内壁に着火拡大し、防火区画が不完全であったダクト等の竪穴から上階に延焼したため、16時間余にわたって燃え続け、さらに4階で就寝していた社長が逃げ遅れて死亡した。								
② 階 別 状 況	階	床面積	焼損床面積	用途(売場)	在館者	死者	避難設備等	消防用設備等	
	PH2	170 m ²	m ²				屋内階段 4箇所 救助袋 10箇所 (3F~6F各2 7F,屋上各1)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
	PH1	170				1			
	8	811.28		美容室, 研修室					
	7	1,119.61		売場(電化品), ホール					
	6	1,175.55		" (家具家庭用品)					
	5	1,797.52	1,683.62	" (玩具), 大食堂					
	4	1,818.92	1,818.92	" (寝具, 肌着)	1				
	3	1,986.30	1,986.30	" (婦人服, 呉服)					
	2	1,986.30	1,986.30	" (紳士, 子供服)					
	①	1,904.86	1,904.86	" (婦人用品)					
	B1	1,458.19		" (食料品)					
	B2	628.50		倉庫, 事務室					
B3	628.50		電気室, 機械室	1					
合計	15,655.53	9,380.0		2	1				
③ 出火場所	(階, 室, 部位, 可燃物状況, 居室・非居室, 在・不在) 旧館側の1階南側シャッターに接して屋外に設けられていた木製の段飾り付近から出火				④ 出火原因	不明 ※通行人等によるタバコ又はマッチの投げ捨て, あるいは放火によるものと推定されているが確証は得られていない。			

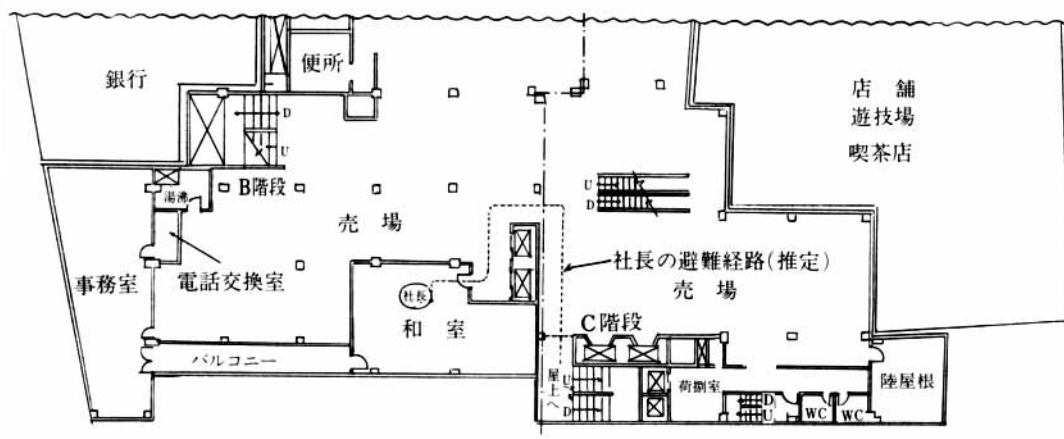
⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<p>(出火部位)</p> <p>1階南側屋外 の木製段飾り</p>	<p>(出火部位の拡大)</p> <p>シャッターの郵便受け口より 火炎が入り、建物内壁に延焼 した</p>	<p>(上階への延焼)</p> <p>ダクトスペースやエスカレータ部分等の 埋め戻し不良箇所及び臭気抜き筒から上 階へ延焼拡大</p>
	<p>1階南側（旧館）の木製段飾り部分からの火災は、段飾りに接していたシャッターの郵便受け口の開口部から建物内部の合板内壁に延焼、更に天井から1階中央部に向って拡大していった。1階中央部に延焼した火勢は、建物中央部のダクトスペースの天井裏隙間から2階に延焼、同時に空調用リターンギャラリーから上階に延び、このリターンダクトが4階部分で水平に断されていたため、4階へ炎が噴出し延焼、続いて3階へと延焼していった。このほか、4階及び5階への延焼はコンクリート柱に設けられていた臭気抜き筒（50 cm角）があり、ここからも延焼拡大している。</p>		
<p>○ 延焼拡大した主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ダクトスペースやエスカレーター等の区画及び防火ダンパーの不備等により上階へ延焼拡大した。 ○防火シャッターに接近して可燃性内壁が設けられていたため内部へ延焼した。 ○出火場所である旧館部分にはスプリンクラー設備が設置されていなかった。 <p>○ 煙の伝播経路</p> <p>火災の拡大に伴い、階段（C階段）ダクト・臭気抜き筒などの縦穴を介して一気に上階層に達し、各階に充満していった。</p>			
<p>II 火災建物概要</p>			
① 建 築	<p>着工・竣工又は主たる改築等 （竣工）昭和25年 月 日</p>	<p>第一期～第四期 （増改築）昭和36年4月～昭和43年10月</p>	
管 理 状 況	<p>② 縦 穴 の 状 況</p> <p>階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input checked="" type="checkbox"/> エレベーター <input checked="" type="checkbox"/> パイプシャフト <input checked="" type="checkbox"/> エスカレータ <input checked="" type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/></p> <p>階段及びエスカレーターは甲種防火戸が設けられていたが、他の縦穴は区画が不完全に施工され、各階とも多数の隙間や開口部があった。</p>		<p>③ 防 火 管 理 状 況</p> <p>○防火管理者の選任、消防計画の作成はなされてお り、消防訓練、防災教育等についても定期的に実 施されていた。</p> <p>○開店時は、警備会社員2名とデパート保安員3名 で警備にあたっていたが、夜間は警備会社員1名 のみで、定期的に店内を巡回する程度であった。</p>
	<p>④ 防 火 区 画 等</p> <p>○2階以上の売場開口部（窓）は、耐水合板の壁で ふさがれ実質的な無窓状態であった。</p> <p>○売場内での区画はなく一室の大空間であった。</p>		<p>⑤ 消 防 用 設 備 等</p> <p>スプリンクラー設備は新館部分のみに設置され、旧 館部分は未設置であった。</p> <p>自動火災報知設備は設置されていたが、自主点検は ほとんどなされていなかった。</p>

III 火災後の行動						
① 発見状況	<ul style="list-style-type: none"> ○発見者 (船員(3名)) ○発見の動機 (ガラスの割れる音で発見した) ○発見後の行動 (消防機関へ通報) <p>千葉港に停泊していた船の船員3名は、千葉市内から船に帰る途中、百貨店の西側で「バシ、バシ!!」とガラスの割れる音で気づき、火災を発見した。(この時点では百貨店南側のシャッターに接して建てられた小屋とその付近が燃えていた)</p> <p>※警備員は1時すぎごろ、地下3階警備室で休憩中、1階の方でシャッターをたたく音に気づき、1階に行ったとき初めて火災を知らされている。</p>					
② 通報状況	<p>通報した <input type="checkbox"/> () 出火後約(11)分</p> <p>通報しない <input checked="" type="checkbox"/> (発見者の船員が通報)</p> <p>1時28分ごろ火災を発見した船員は手分けして電話を探し、公衆電話から通報した。(1時33分第1報) ※第2報として同時分に、田畑百貨店前のY生命会社の管理人が通報している。</p>					
③ 初期消火状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">消火した</td> <td style="width: 30%;"> 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 55%; vertical-align: top;"> (理由又は状況) 道路を隔てたY生命の管理人や発見者の船員等、集まってきた10人位の人々でバケツリレーにより水をかけ、また、Y生命の泡消火器2本を使って消火に努めたが効果がなかった。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消火しない</td> <td> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 道路を隔てたY生命の管理人や発見者の船員等、集まってきた10人位の人々でバケツリレーにより水をかけ、また、Y生命の泡消火器2本を使って消火に努めたが効果がなかった。	消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 道路を隔てたY生命の管理人や発見者の船員等、集まってきた10人位の人々でバケツリレーにより水をかけ、また、Y生命の泡消火器2本を使って消火に努めたが効果がなかった。				
消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○たび重なる増改築のため複雑な室内構造となりさらに濃煙熱気が激しく消防活動に阻害をきたした。 ○窓の内側に合板張りの壁を設けたため、無窓状態となっており、消火活動に支障をきたした。 					

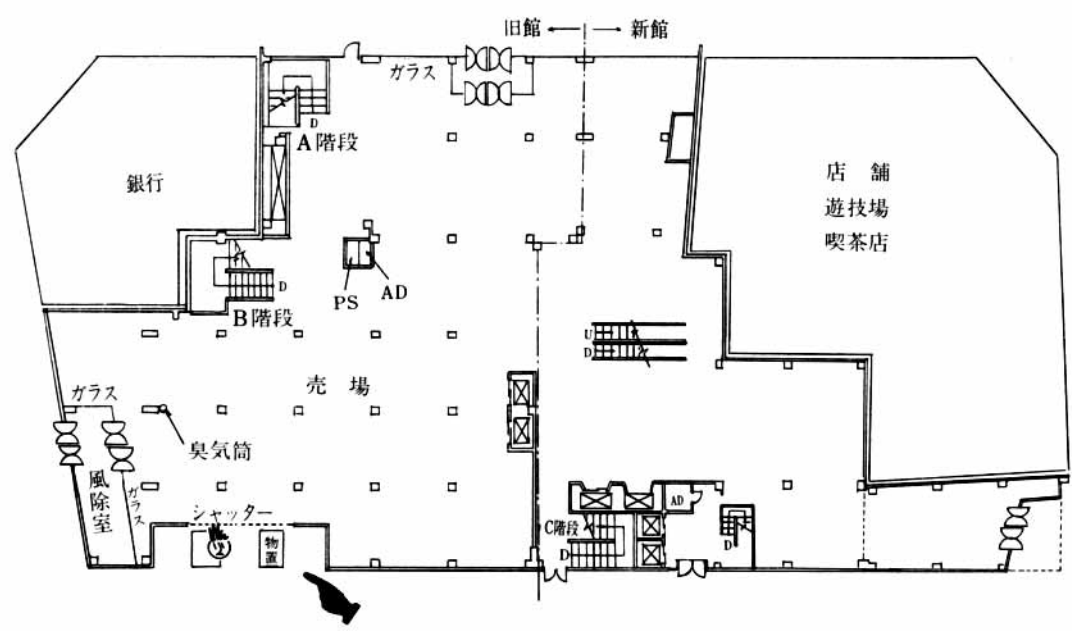
	避難方法	避難上支障事項
⑤ 避難 状況	○階段を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> (人) ○救助 <input type="checkbox"/> (人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人)	○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
⑥ 死者 の 状況	健康人 1名 (泥酔者 名) 要保護者 名 乳幼児 名 高齢者 名 身体不自由者 名 病人 名	避難上支障となった事項 ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/>
IV 問題点・教訓等		
1. 新館増築の際、旧館部分にもスプリンクラー設備の適用を受けることとなったが、経済的理由により設置されていなかった。 2. 夜間の警備は、委託警備員1名のみが火気関係及び消防用設備等の点検、確認を行いながら常駐していたが、1名では出火に際し有効な初期活動は期待できず、盗難防止を主体とした巡視程度であった。 3. ダクトスペースやエスカレーターの防火区画の施工不良及び旧館の地下1階から屋上まで立ち上っていた塩ビ製の臭気抜き筒が上階への延焼拡大の大きな要因となった。 4. 窓の内側に合板張りの壁を設けたため実質的に無窓状態となっており、消火活動に支障をきたした。		



配置図



4階



1階